

延岡市立西階中学校 学校評価

学校教育目標：人間力を身につけたふるさと西階（延岡）の未来を担う生徒の育成 校訓「学而鍛錬」
 【西階中学校 教育的課題（重点実践事項）】

- ① 当たり前のことが当たり前のできる生徒の育成
 【チームで取り組む生徒指導／生徒が自ら考え主体的な行動ができる力の育成／家庭・地域との連携】
- ② 豊かな人間性・主体的に生きる力の育成
 【人権教育の推進／特別支援教育の推進／生徒一人一人を大切に、感謝の心・人の痛みが分かる思いやりの心を育成】
- ③ 生徒の将来に向けての取組【生徒の大きな「夢」の実現（進路指導の充実）／キャリア教育の充実／体力向上】
 【西階中学校 学校評価キーワード】

A 学而（学問をなす） B 鍛錬（精神や身体を鍛える） C 当たり前のことが当たり前のできる D 豊かな人間性の育成 E キャリア教育の充実
 【評価】 4よくあてはまる 3あてはまる 2あまりあてはまらない 1全くあてはまらない 0わからない

学習：学習指導		学校は、一人一人に応じたきめ細かな学習指導を行っていますか。			
	生徒	教職員	保護者	学校運営協議会委員	
1					
	<p>成果 落ち着いた雰囲気です授業を実施できている。職員は、教科研修や教材研究を積極的に進め、個に応じた学習活動を積極的に進めている。</p>	<p>課題 概ね一人一人に応じた学習指導ができているものの、学習の定着に時間のかかる生徒への対応が必要である。</p>	<p>方策 小学校との連携し、知識構成型ジグソー法を充実させるとともに、「子どもの主体的な学びの創造」の研究を通して生徒の主体的な学びを拡充を図る。</p>	<p>委員より 概ね学校はきめ細やかな指導が出来ているという評価はいただいているが、40%の委員が2の評価をしているので、よりきめ細やかな指導が必要と考えられる。</p>	
学習：夢や希望		生徒は、将来の夢や希望をもって学習に取り組んでいますか。			
	生徒	教職員	保護者	学校運営協議会委員	
2					
	<p>成果 生徒・教職員・保護者ともに生徒が夢や希望をもって学習に取り組んでいると評価がある。各学年に応じた進路学習ができた。</p>	<p>課題 職員は、2・1の評価は少ないが、生徒と保護者の評価に2があり、職員と生徒・保護者の認識の差がある。</p>	<p>方策 各学年に応じた進路指導を進めるとともに、3年間を系統づけたキャリア教育を実践していく。</p>	<p>委員より 4・3の評価がほとんどなので、生徒が夢や希望をもって学習に取り組んでいるという評価をいただいている。</p>	
生指：基本的な生活習慣と協調性		生徒は、基本的な生活習慣を身に付け、協調性をもった生活ができていますか。			
	生徒	教職員	保護者	学校運営協議会委員	
3					
	<p>成果 基本的な生活習慣や協調性は、生徒・教職員・保護者とも概ね身につけていることから4・3の評価が高い。落ち着いた学校生活を送っている。</p>	<p>課題 生徒は、4の評価が最も多く、教職員と保護者は、3の評価が最も多い。生徒がしっかりとできていると考えていても、客観的には不十分といえる。</p>	<p>方策 今後も、学校と家庭が連携して基本的な生活習慣の指導を行っていくとともに、生徒に自分を振り返る機会をもたせるようにする。</p>	<p>委員より 4・3の評価がほとんどなので、基本的な生活習慣と協調性について、よい評価をいただいている。</p>	

4	生指：生徒活躍の挑戦と支援	学校は、生徒に活躍の場を与え、積極的に挑戦していく生徒の育成に努めていますか。		
	生徒	教職員	保護者	学校運営協議会委員
	成果	課題	方策	委員より
	三者共に、授業や部活動、学校行事において、生徒が主体的に活躍する場面をつくっていると評価は高い。	生徒・職員・保護者全てに2の評価までの割合が高いが、積極的に挑戦する態度が今一步と考える生徒・職員がいる。	生徒の活躍や成長について、保護者や地域に伝えることで、自信をもって活躍できる生徒の育成を目指す。	4・3の評価がほとんどなので、生徒活躍の挑戦と支援について、よい評価をいただいている。
5	道徳：あいさつ	生徒は、時と場に応じた「あいさつ」をする等、他の人を大切にしている生活ができていますか。		
	生徒	教職員	保護者	学校運営協議会委員
	成果	課題	方策	委員より
	生徒会を中心に小中連携も含めて、あいさつ運動を進めていることで、生徒の意識高揚を促し、積極的なあいさつができています。	あいさつの個人差は否めないと共に、教職員と保護者のあいさつの評価4が少なく、生徒との認識の差を感じる。	挨拶・返事について、生徒会を中心に生徒主導の活動を実践していく。自尊感情と他者理解を醸成する心を育成する授業を行う。	4・3の評価が90%であることから、あいさつについては、好評価をいただいている。生徒の評価により近いものがある。
6	道徳：コミュニケーション能力	生徒は、人の話を聞いたり、自分の意見を伝えたり、コミュニケーションを図ることができていますか。		
	生徒	教職員	保護者	学校運営協議会委員
	成果	課題	方策	委員より
	3者ともコミュニケーション能力は、概ね評価4・3が高く、相手の話を聞く、自分の意志を伝えることができています。	あいさつ同様にコミュニケーション能力について、教職員と保護者のあいさつの評価4が少なく、認識の差を感じる。	「子どもの主体的な学びの創造」の研究を通して、主体的に学びながら自己の意見を伝えることができる生徒の育成に取り組む。	4・3の評価が90%であることから、コミュニケーションについては、概ね好評価をいただいている。
7	生指：人権尊重の上での生徒指導	学校は、生徒のことを理解して、生徒の人権を尊重しながら生活（生徒）指導をしていますか。		
	生徒	教職員	保護者	学校運営協議会委員
	成果	課題	方策	委員より
	3者とも評価4・3が高く、生徒の人権を尊重しながら生徒指導ができています。昨年に比べ教職員と生徒・保護者の認識のズレは少なくなりました。	少数ではあるが、評価2の生徒4%、教職員10%、保護者16%ある。人権尊重の観点を生徒指導により浸透させる必要がある。	特に生徒評価2・1の生徒に焦点をあて、抜目のない人権尊重の生徒指導を進めていく必要がある。	4・3の評価が100%であることから、人権尊重の上での生徒指導については、概ね好評価をいただいているが、教職員と保護者同様3の評価が高い。

8	地域：学校・家庭・地域の連携	学校は、家庭・地域との連携を図った取組を積極的に行っていますか。		
	生徒	教職員	保護者	学校運営協議会委員
	成果	課題	方策	委員より
1年：南方探案会、2年：職場体験学習、3年：地域ボランティア等 各学年独自の取り組みができた。保護者も学校行事等に積極的に協力した。	取組が出来ているものの、企画・運営を学校に頼り切っているものがまだまだある。	地域が主体となった企画立案が必要である。	4・3の評価が100%であることから、学校・家庭・地域の連携については、概ね評価をいただいているが、教職員と保護者同様3の評価が高いので、好評価の中でも課題が残る。	
9	地域：地域貢献・ボランティア	生徒は、ボランティア活動や地域の行事等に積極的に取り組み、地域社会に貢献しようとしていますか。		
	生徒	教職員	保護者	学校運営協議会委員
	成果	課題	方策	委員より
入試の自己推薦書や調査書等に記入欄があることで、3年生が地域のボランティア活動に積極的に参加した。	部活動の関係で、1・2年生が地域ボランティアに参加するのは難しい状況である。	1・2年生に対して、3年生が参加している地域のボランティアを紹介することで、3年生になったら自分も地域社会に貢献しようとする意欲を高める。	生徒・教職員・保護者・委員のいずれをとっても、2の項目が20%を占めるので、地域貢献やボランティア活動については、課題が残る。	
10	地域：進路情報の提供	学校は、進路に関する情報を適切に発信していますか。		
	生徒	教職員	保護者	学校運営協議会委員
	成果	課題	方策	委員より
今年度も3年生に対して、きめ細かな進路の情報発信を行うとともに、学校全体に、進路情報を伝えたことで、進路情報提供ができた成果が評価されている。	生徒職員共に進路情報は浸透してきているが、保護者の「2」割合やわからないという保護者が多いことから、生徒が伝えていないケースが考えられる。	ホームページや各種通信及び安心安全メールを活用することにより、さらなる進路情報の浸透を図りたい。	進路情報の提供に関しては、生徒・学校・委員は概ね評価しているが、保護者まで届いていないことが考えられる。家庭の会話及び親子の話し合いの必要性がある。	

①当たり前が当たり前でできる生徒の育成

自ら考え主体的な行動ができている場面が多く、落ち着いた雰囲気や学校生活を送ることができている。今年度は、学校と家庭・地域の共通理解が進み、より連携した取組ができた。	コミュニティスクールとしてさらなる進化を図るため、幼保小中連携の取組の改善や学校運営協議会で意見交換を行ったことを学校運営に活かす活動を行いたい。
--	---

②豊かな人間性・主体的に生きる力の育成

本年度も、職員研修をとおして、人権教育や特別支援教育の推進を図ることができた。不登校生や特別な支援を必要とする生徒の指導にSCやSSWと連携を図ることができた。	学習面では、「子どもの主体的な学びの創造」の研究を通して、自ら考えともに学ぶ姿勢を構築し、生徒指導では、道徳や学級活動の授業で特別支援の共生の観点を取り入れた取組を行ってきたい。
--	---

③生徒の将来に向けての取組

地域や家庭と連携したキャリア教育の推進ができた。自ら将来の夢や希望をもって学習に取り組む生徒を増やしていきたい。	次年度も学校運営協議会との連携を充実させ、地域に根ざした学校づくりに務め、地域に貢献できる生徒の育成を図りたい。
--	--

評価の総括

成果	<ul style="list-style-type: none"> ○各評価項目、学校運営協議会委員の評価が4・3の評価が多いので、全体的に概ねよい評価をいただいている。 ○学習面について、生徒が夢をもち目標に向かって進んでいると好評価をいただいている。 ○生徒指導面について、落ち着いた学校生活がおくれていると共に、あいさつについても好評価をいただいている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○学習面について、概ね生徒・職員はきめ細やかな指導を行っていると考えているが、保護者・学校運営協議会委員の評価が3・2の評価があるため、指導の充実を図る必要と、広報の機会を多くつくる必要がある。 ○ボランティアについて、1・2年生の参加と機会の広報が必要である。 ○地域貢献の評価が、3・2の評価が比較的多いので、地域の団体との連携を深めて地域の行事への参加を促進したい。